



いはら陽輔

活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」

平成25年和光市議会3月定例会報告

2月24日～3月19日の期間で3月定例会が行われました。開会日の2月24日には市長が施政方針演説を行いました。25年度の市政運営、財政運営、予算編成、主要事業などについて説明がありました。施政方針うち主要事業をいくつか抜粋いたします。

都市基盤

- 土地区画整理事業の推進
- ゾーン30事業による歩行者の安全対策
- 都市マスタープランの見直し

教育・文化・交流

- 下新倉地区への新小学校建設の推進
- 那須烏山市、十日町市、佐久市との市民交流
- スポーツ推進計画の策定

保健・福祉・医療

- 保育園の待機児童解消に向けた取り組み
- 子ども医療費助成のさらなる拡充
- 障がい者・高齢者の共生型施設の開設

生活・環境・産業

- 自主防災組織の支援、防災訓練の実施
- 市内循環バスの利便性の向上
- 太陽光発電など省エネ機器の設置補助

施政方針に対する質問の中で松本武洋市長は次期市長選挙への出馬を表明しました。また、3月定例会において審議された主な議案と審議結果については以下の通りです。議案と審議結果の詳細につきましては和光市議会のホームページをご覧ください。

議案(抜粋)	議案の概要	審議結果
和光市健康づくり基本条例を定めることについて	市民の健康づくりを推進できるよう、健康づくりに関する基本的事項を定め、これを包括的に推進する体制を構築する。	原案可決
和光市子ども医療費助成に関する条例及び和光市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部改正	子ども医療費及びひとり親家庭等の医療費の支給における助成の対象を拡大する。通院にかかる子ども医療費及びひとり親家庭等の医療費助成を中学生まで拡大する。	原案可決
和光市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例を定めることについて	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、高齢者、障がい者の移動円滑化のため市が管理する特定公園の設備の基準を定める。	原案可決
平成24年度補正予算	一般会計予算に4900万5千円を増額。補正後は225億6242万3千円。	原案可決

- 子ども医療費助成に関する条例及びひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部改正
子ども医療費の通院における支給対象は改正前は12歳に達する3月31日まででした。改正後の支給対象は15歳に達する3月31日まで年齢が拡大されます。ここ数年、他自治体においても同様の改正がなされてきていることから、この改正は時代の流れに沿うものであると思います。
- 平成24年度一般会計予算の主なもの
 - ・ 橋梁点検・長寿命化計画委託料 (1,468万6千円)
 - ・ 和光市組合等まちづくり整備事業補助金(白子三丁目中央土地区画整理組合活動支援) (1,800万円)
 - ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業補助金 (1,874万5千円)
 - ・ 全国瞬時警報システム自動起動装置設置工事費 (1,332万2千円)
- その他、3月定例会で決まったこと
「学校建設等特別委員会」を設置しました。下新倉地区に新設予定の小学校の建設および適切な配置に関する案件について審議します。議長を除く全議員が委員となります。

いはら陽輔の一般質問の要旨

中学校の部活における体罰について

問：全国のスポーツ指導の場において体罰が相次いで発覚している。和光市の中学校の部活における体罰の状況と、部活動の教育方針について伺う。

答：和光市内の中学校において体罰に関する事故報告は上がってきていない。中学校の運動部活動は、スポーツを通じて同じ目的を達成するために、仲間と関わっていく中で人間形成をしていく場所である。そのことを理解し、指導方法を学びつづけて子供達の成長を考えることによって体罰や暴力は根絶できると考えている。

問：世間ではある程度の体罰は仕方ないという意見も決して少なくないと思うが、このような意見に対してはどのように思うか？

答：体罰による指導は絶対に許してはいけない。世間がどうとらえようが学校現場においては暴力によって指導すること自体が、指導力のなさを露呈していると捕らえている。教育者はそれを戒めていかなければならない。

情報セキュリティポリシーの改訂

問：近年無線LANの技術の発展により、通信速度、セキュリティが向上している。しかし、和光市情報セキュリティポリシーでは無線LANの使用を禁止している。禁止にしている理由を伺う。

答：住民情報システムや庁内LANのネットワークについては、無線のセキュリティ技術が向上しているとはいえ危険度は高いと考えているため禁止としている。

問：公開しても問題ない資料のやりとりについては庁内ネットワークとは別の独立したネットワークを構築して無線で利用する方法は可能か？会議資料などをタブレット端末等で閲覧するペーパーレス会議ができるように、セキュリティポリシーを改訂できないか？

答：無線LANの活用については別ネットワークを構築することが望ましいと思う。取り扱う情報の重要度に応じて対策を講じる必要があることから十分な検討が必要である。

フィルムコミッション活動*

問：フィルムコミッション活動を推進する体制が一本化できていない。フィルムコミッション活動は和光市を内外にPRする重要な取り組みである。まずは担当課を一本化することが必要だと思うが見解を伺う。

答：現在撮影場所として市庁舎、新倉ふるさと民家園、市内の公園の3つの施設を提供している。それぞれの施設の担当課

は異なるが、施設運営上他の事業との関わりがあるのでやむを得ない。今後一本化については検討していきたい。

問：撮影実績は着実に増えてきているので和光市がロケ地として需要があることの裏づけになっている。撮影に使えるロケ地を増やしてほしいのはもちろんだが、商工会と協力して市内の飲食店などをロケ地として提供することは可能か？

答：市内の飲食店の中には撮影場所として希望するところもあるもので、市の立ち位置をかためる中で情報提供できればと考えている。

停電時の水道水の確保

問：自然災害などにより停電になったとしても浄水場においては給水が可能となる仕組みを備えていると思うが、どの程度の給水能力を備えているのか伺う。

答：和光市では埼玉県からの水と市内7箇所の井戸水からくみ上げた地下水を2つの浄水場で浄化処理して各家庭に配水している。配水ポンプは電力によって稼動するため、停電時にはポンプは停止してしまうが、両浄水場には自家発電施設を設置している。この施設により20時間から30時間程度の配水が可能と考えている。

問：東日本大震災の発生後、関東地方では計画停電が実施され、一部のマンションでは給水が止まった。和光市では計画停電から外れた地域もあることから、マンション居住者に対して周知を含めた特段の対策が必要と思うが市の見解を伺う。

答：マンションの給水は建物の給水設備によって異なる。3階建て以上のマンションなどで加圧ポンプ式により給水している場合には、停電時はポンプが稼動しないため給水ができなくなる。一方で、屋上などに高架式受水槽が設置されている建物では、受水槽の中にある水がなくなるまでは給水ができる。このように建物の施設の状況によって違いがあるため、マンション居住者に対して給水施設の確認と停電時の対応を周知する必要があると考えている。今後、市のホームページや広報わこうを活用して周知を行っていきたい。

このほか、積雪対策、路上喫煙、学童保育などについて質問をしました。

用語説明

・フィルムコミッション

映画、ドラマ、CMなどのロケーション撮影を誘致し実際のロケを円滑に進めるための非営利公的機関。

infomation

● 和光市長選挙について

告示日：5月12日(日) 投票日：5月19日(日)

● 和光都市計画マスタープラン市民検討委員会の公募について

和光都市計画マスタープランの中間見直しに必要な事項を調査・検討します。検討委員会では市民委員を3名募集しております。詳細は市ホームページ、広報紙4月号をご覧ください。

● 和光市議会6月定例会の予定について

会期日程：5月30日(木)～6月17日(月)

公式ウェブサイトをご覧ください
<http://iharayosuke.com/>



いはら陽輔

検索

発行：和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▶048-201-0791

E-mail ▶iharayaosuke@gmail.com

Twitter ▶@iharayosuke